

科目ナンバー： BC3043

授業コード： 2230300400

講義科目名称： 老年看護学実習

英文科目名称： Clinical Practice in Gerontological Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	3学年	3単位	必修
担当教員			
◎東條紀子、青山拓夢、原等子、小長谷百絵			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 90時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎東條 紀子 cn. ac. jp 青山 拓夢 cn. ac. jp 原 等子 cn. ac. jp 小長谷 百絵 cn. ac. jp	【所属】 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	【研究室】 308 共同研究室4 303 213	【メールアドレス】 toujou@niigata- taaoyama@niigata- naohara@niigata- konagaya@niigata-
	実務経験のある教員が担当します			
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
	【D P 1】 【D P 2】 【D P 3】 【D P 4】 【D P 5】 【D P 6】 【D P 7】 ○ ◎ ○ ○ ○			

到達目標	1. 疾病や障害を持ちながら、自己の可能性を探索しつつ生きる高齢者の理解を深める。 2. 個々のニーズに応じた安全で安楽な看護活動が実践できる基礎的能力を習得する。 3. 高齢者サービスにおける医療施設や福祉施設の役割・機能を理解し、そこで期待される看護職の役割と機能について説明できる。 4. 保健医療福祉サービスに従事するさまざまな関連多職種との協働ができる能力を身につける。
授業概要	老年看護学実習では、臨地において高齢者と向き合い、ケアを探究することを通して老年看護の意義を学ぶ。高齢者への看護実践のために重要なことは、 第一に高齢者個々の経年の生活史、習慣を考慮し、生活者の視点によって生活の実際を理解すること 第二に確実なフィジカルアセスメントにもとづき高齢者の多様な身体状況、疾病や障害を深く理解すること その上で、高齢者の持てる力を最大限発揮し、高齢者の望む生活に近づけられるよう、高齢者の生活への影響を最小限に抑えた看護過程を熟考することである。 これらを踏まえた実践により、個別性のある看護ケアを安全かつ安楽に実施し、高齢者の生活の質を向上させることができます。 また、高齢者が療養する医療施設や保健福祉施設において実際に学ぶことにより、わが国の保健、福祉における高齢者施策の政策的意義への理解を深めましょう。
授業計画	授業内容 【授業形態】 実習 対面・臨地 【実習期間】 3週間 【実習場所】 上越市内および近郊の病院、在宅支援サービス施設など 【実習内容】 1) 病院で療養する後期高齢者を1名担当し、看護過程を展開する。 2) 通所ケア施設において、その場で行われるケアに参加し、在宅生活支援及び地域サービスの意義について考える。 3) 多様なケア環境（病院、通所ケア施設、在宅等）における高齢者への看護の実際を学び、高齢者のケアニーズや各サービスの役割を考察する。 4) 実習を通して高齢者への看護の役割と多職種との連携のあり方を考察する。 詳細は実習要項を参照すること。 事前学修：翌日の実習に向けて、「1日の実習記録」へ実習目標・具体的な行動計画を立案して実習に臨む。 実習において必要なフィジカルアセスメント、技術の習得を備えたうえで実習に臨む。 受け持ち患者の看護に必要な技術手順書や看護過程の記録を提出する。 事後学修：毎日「1日の実習記録」に実習内容を記述し提出する。 実習の進度に合わせて予定された提出日に看護過程の記録を修正し提出する。 実習の実践を振り返り、実践レポートを提出する。

評価方法、評価基準	到達目標1〜3に対し、その到達状況について、実習内容、実習記録（情報の整理、アセスメント、全体像、看護計画、日々の記録、実習レポート）などにより総合評価する。詳細は実習要項を参照のこと。
必携図書	老年看護学Ⅰ、Ⅱ、演習で使用した図書ならびに配布資料、自己学習資料
参考図書・資料等	老年看護学演習提示資料ほか、参考図書、映像資料などを随時活用する。 インターネット資料の利用は必要最小限にとどめ、幅広い知識および技術の習得をめざす。
受講、課題、資料配布等のルール	実習オリエンテーション前に、必ず実習要項を熟読する。 学内・臨地問わず、欠席・遅刻・早退の場合は、必ず担当教員（必要時、実習施設担当者）に連絡し、確認を得る。 実習記録は手書きでもPC入力でも構わない。コピーは自宅、大学、実習施設内で行い、USBや原本の置忘れや紛失に留意する。 実習提出用記録（コメントされた記録類も含む）、個人学習資料、グループ学習資料は実習要項に沿って、実習最終日の提出資料に含めるため、資料の廃棄については留意する。
教員からのメッセージ	実習前に基本的な看護技術の確認および必要な項目（バイタルサインズの測定、移乗・移動援助、排泄ケア、清潔ケア、褥瘡リスクアセスメント、食事介助・ポジショニング、口腔ケアなど）は技術練習をしておきましょう。実習室は空き時間を活用してどんどん利用してください（事前申込制です）。 学びは個人の主体性によって育まれるものです。自らの看護を創造していくことは、知識と経験にもとづき皆さんの自信につながる財産です。 実習では、高齢者の「強み」や「潜在能力」を最大限に活かし、高齢者を尊重した実践ができるよう、期待しています。 実習後には、高齢者の尊厳、自立、参加、リハビリテーションなどの重要性について、自身の経験を踏まえて説明できるようになっていると思います。そして、高齢者ケアにおける看護倫理について自ら考え行動し、感性高く実践していく力をつけていきましょう。
オフィスアワー	全教員 在室時対応可能 メール等で対応可能